

リハビリテーションセンター

1. スタッフ (2020年4月1日現在)

【医師】

センター長 (准教授)	森田 光哉
医師 (教授)	竹下 克志
(学内教授)	星出 聡
(講師)	中嶋 剛
	小森 孝洋
	飯島 裕生
(病院講師)	直井 為任
(病院助教)	山本奈津子
	金谷 裕司
	小沼 早希
	阿久津博彦
(レジデント)	近藤 総一
非常勤医員	大上 仁志

【子ども医療センター】

部長 (教授)	吉川 一郎
医師 (准教授)	渡邊 英明
(助教)	乗島 真理

【診療担当医師】

心大血管疾患	小森 孝洋
脳血管・運動器・呼吸器	森田 光哉
	中嶋 剛
	直井 為任
	飯島 裕生
	山本奈津子
	才津 旭弘
	吉川 一郎
	渡邊 英明
	乗島 真理

【療法士】

室長	金子 操
室長補佐	黒淵 永寿
	南雲 光則
主任理学療法士	川合 直美、大澤かおる、 関根 利江
主任作業療法士	玉野 彩
主任言語聴覚士	金子弥栄子
専任理学療法士	寺門 大輔、橋本 和子
理学療法士	25名
作業療法士	10名 (非常勤1名を含む)
言語聴覚士	6名
【事務】	
受付事務	2名 (交代勤務)

2. 対象疾患・治療種目

【理学療法】

理学療法は、日常生活に何らかの障害をきたす全ての疾病を対象にしている。主な疾患は、脳血管障害（脳梗塞、脳出血、くも膜下出血など）による半身麻痺、四肢麻痺など、脊髄疾患（脊髄損傷、脊髄腫瘍による）、切断（糖尿病、外傷後、腫瘍による）、骨折、骨関節疾患（変形性関節症、関節リウマチ、靭帯損傷など）、神経筋疾患（パーキンソン病、筋ジストロフィー症、脊髄小脳変性症など）、呼吸器疾患、循環器疾患である。治療種目は、運動療法、電気刺激療法、温熱療法、牽引療法を行っている。理学療法士は、医師の指示、評価に基づいて適切な治療法を組み合わせ、早期のADL自立獲得と社会復帰を目標に治療している。

【作業療法】

小児から高齢者まで生活に障害を持つすべての人にかかわり、訓練、治療を行っている。代表的な疾患は、脳血管障害、脊髄損傷、慢性関節リウマチ、パーキンソン病、外傷、骨折、脳性麻痺、筋ジストロフィー、ダウン症、ASDなどである。

【言語聴覚療法】

ほとんど全ての言語障害に対応、必要な言語リハビリ（言語訓練、指導、相談）を行っている。代表的な言語障害には、聴覚障害（難聴）、言語発達遅滞（ことばの遅れ：精神遅滞、ASDなどの発達障害に伴うものを含め）、機能的構音障害（発音の困難）、口蓋裂に伴う言語障害（構音障害）、脳性麻痺に伴う言語障害（構音障害）、吃音（どもり）、失語症（脳梗塞、頭部外傷などによる）、運動障害性構音障害および嚥下障害（脳疾患、神経疾患など）、音声障害（発声障害）である。

3. リハビリテーションセンターの特徴

【理学療法】

理学療法では、多種多様な疾病、障害に対応できるよう、整形外科系・内科系（神経内科中心）・外科系（脳神経外科中心）のチームを組んで診療している。

麻痺・筋力低下・関節拘縮といった機能障害の改善だけでなく、ADL自立に向けた基本的動作の獲得、障害を克服して生活するための精神・心理的サポート、医師・看護師とのカンファレンスを定期的に行なうなどチーム内での連携を図り、股関節・膝関節・脊椎等の手術後、脳血管障害後、神経・筋疾患、脳外科手術後、外科手術後など患者の生活再建・生活支援を主な業務としている。

心大血管リハビリテーションは、月・水・金の午後心

リハ専任医師の直接監視下で、専従理学療法士により行っている。心筋梗塞などによる入院患者のみならず、退院後の患者についても指導・加療している。

【作業療法】

作業療法部門では、病気や事故により障害を負った方々や発達時期に障害を受けた子どもたちに対して、いろいろな作業活動（遊びも含め）を利用し、日常生活動作や社会適応能力回復のための訓練、治療を行っている。

また、たとえ障害があっても家庭や学校、職場、社会で生活できるように指導、援助も行っている。

【言語聴覚療法】

言語障害の様相は個々の言語障害内でも多様であり、個々の対象児、者の言語症状に合わせた言語リハビリテーションに努めている。また、小児科、耳鼻咽喉科、口腔外科、神経内科などと連携を図っている。

・認定施設

リハビリテーション医学会認定施設

・認定医・専門医

リハビリテーション医学会臨床認定医

- 専門医・指導医 森田 光哉
- 専門理学療法士 金子 操（運動器）
川合 直美（運動器）
大澤かおる（内部障害）
- 認定理学療法士 南雲 光則（地域理学療法）
関根 利江（呼吸）
福田 崇法（運動器）
橋本 和子（脳卒中）
濱田 佳祐（脳卒中）
中川 泰宏（循環）
大橋麻納美（発達）
沢田 恵子（循環）
矢田 理恵（呼吸）
- 認定作業療法士 黒淵 永寿
- 認定言語聴覚士 金子弥栄子
（言語発達障害・摂食嚥下障害）

4. 実績・クリニカルインディケーター

2019年（2019/1/1～2019/12/31）のリハビリテーション科取り扱い患者数・単位数は、以下の通りである。

【2019年診療実績】

	理学療法		作業療法		言語聴覚療法	
	患者数	単位数	患者数	単位数	患者数	単位数
1月	3,339	6,654	1,143	2,159	498	954
2月	3,524	6,983	1,239	2,372	518	1,082
3月	3,774	7,492	1,288	2,478	567	1,128
4月	3,610	7,078	1,160	2,188	570	1,179

5月	3,589	7,077	1,154	2,167	531	1,106
6月	3,613	7,196	1,213	2,297	534	1,063
7月	4,021	7,270	1,366	2,669	577	1,222
8月	3,557	7,172	1,168	2,316	521	1,166
9月	3,200	6,337	1,141	2,250	531	1,023
10月	3,771	7,172	1,258	2,493	606	1,294
11月	3,662	7,054	1,175	2,326	536	1,078
12月	3,840	7,263	1,234	2,406	551	1,220
合計	43,500	85,343	14,539	28,121	6,539	13,515

【2010年から2019年の実績推移】

理学療法



作業療法



言語聴覚療法



5. 他部門とのカンファレンス

リハビリテーションカンファレンス (脳神経外科)	第2・4 火曜日	17:30~ 18:30	脳神経外科病棟
リハビリテーションカンファレンス (整形外科)	隔週 火曜日	18:00~ 19:30	整形外科病棟
リハビリテーションカンファレンス (心大血管リハ)	毎週 水曜日	16:00~ 17:00	リハビリテーションセンター 心大血管リハ室
リハビリテーションカンファレンス (小児科)	隔月第3 火曜日	17:30~ 18:30	こども医療センターカンファレンス室
リハビリテーションカンファレンス (小児整形外科)	1回/3M 第2水曜日	18:00~ 19:00	こども医療センターカンファレンス室
二分脊椎カンファレンス	毎月第2 月曜日	18:00~ 19:00	こども医療センターカンファレンス室
口蓋裂カンファレンス	毎月第4 水曜日	18:00~ 19:00	こども医療センターカンファレンス室
補聴器外来カンファレンス	毎週 火曜日	17:00~ 18:00	耳鼻科外来

6. 研究業績 (2019年)

- 1) Keisuke Hamada, Tameto Naoi, Sayaka Kimura, Kazuko Hashimoto, Mitsunori Nagumo, Misao Kaneko, Ryota Tanaka, Sigeru Fujimoto, Mitsuya Morita: Rehabilitation in patients with acute cerebral infarction caused by complete internal carotid artery occlusion. 13th International Society of Physical and Rehabilitation Medicine. Kobe. June 9-13. 2019
- 2) 白井麻納美, 乗島真理, 高石恵太, 金子 操, 山形崇倫: 身体表現性障害患者のリハビリテーション経験と臨床的特徴. 第6回日本小児理学療法学会学術集会. 福岡. 2019年11月16・17日
- 3) 高石恵太, 乗島真理, 白井麻納美, 金子 操, 山形崇倫: 成長期の脊髄性筋萎縮症Ⅲ型患者へのヌシネルセンナトリウム髄注治療と理学療法経験. 第6回日本小児理学療法学会学術集会. 福岡. 2019年11月16・17日
- 4) 大澤かおる, 野澤洋平, 金子 操, 藤原慎一郎, 神田善伸: 当院での造血幹細胞移植患者の理学療法介入の効果. 第41回日本造血幹細胞移植学会総会. 大阪. 2019年3月9日
- 5) 矢田理恵, 関根利江, 金子 操, 大貫次利, 中山雅之, 坂東政司, 萩原弘一: 呼吸リハビリテーション施行中のCOPD患者におけるCOPD増悪が身体活動量に与える影響について. 第29回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会. 愛知. 2019年11

月11・12日

- 6) 秋野玲奈, 牡鹿 実, 黒淵永寿: IT機器を用いたコミュニケーション支援の経験. 第10回栃木県作業療法学会. 栃木. 2019年11月17日
- 7) 白石優美, 黒淵永寿, 玉野 彩: 愛着障害を呈す不登校児に対しSSTを施行し登校可能となった事例. 第10回栃木県作業療法学会. 栃木. 2019年11月17日
- 8) 白石優美, 黒淵永寿, 玉野 彩: DCD児におけるVineland-II 適応行動尺度の特性. 第3回日本DCD学会学術集会. 長崎. 2019年4月13・14日
- 9) 黒淵永寿, 玉野 彩, 白石優美: Sensory ProfileにおけるDCD児の感覚特性. 第3回日本DCD学会学術集会. 長崎. 2019年4月13・14日
- 10) 金子弥栄子: 書字の困難さを主訴とする中学1年生3例の言語特徴について. 日本LD学会第28回大会. 東京. 2019年11月9・10日

7. 2020年の目標・事業計画等

- ・良質なリハビリテーションサービスの提供
- ・施設・設備の充実
- ・リスク管理意識の啓発
- ・働きやすい職場環境の整備